

企業理念

Materials Innovation

マテリアルを通じて価値を創造し、人間社会(人・社会・環境)に貢献します。

経営方針

私たちJSRグループは、意思決定と活動のフレームワークを構築し、個々人の判断の拠り所となるべく基準として経営方針を定めています。
持続的成長を続けるための普遍的な経営方針としての「変わらぬ経営の軸」と
社会の一員としての責任を表した「ステークホルダーへの責任」という2つの軸により構成されています。

変わらぬ経営の軸

絶え間ない事業創造

絶え間ない大きな社会ニーズの変化に対し、必要なマテリアルも変わり続けます。JSRは今ある事業に留まることはなく、常に新たな事業を創造することで、社会ニーズの実現に貢献し、持続的な成長を達成します。

企業風土の進化

変わり続ける社会ニーズへマテリアルを通じて応え続けるために、人材・組織は常に進化し続けます。自身の良き風土は維持しながらも新しいものを取り入れ、進化するエネルギーに富んだ経営と組織を築き続けます。

企業価値の増大

マテリアルを通じて事業機会を創出し、企業価値の増大を目指します。そのためには、顧客満足度の向上と社員の豊かさの向上を重視し続けます。

ステークホルダーへの責任

顧客・取引先への責任

JSRグループの全顧客・取引先に対する責任です。

- 移り変わる時代の多様な材料ニーズに応えるため、変化への挑戦と進化を絶やしません。
- 顧客満足の持続的な向上を目指します。
- 全ての取引先に誠意をもって接し、常に公正・公平な取引関係を維持し続けます。
- サプライチェーンにおける環境・社会に配慮し続けます。

従業員への責任

JSRグループ全社員に対する責任です。

- 社員一人ひとりには公平な基準に基づき評価されます。
- 社員には常に挑戦する場を提供し続けます。
- 社員にはお互いの人格と多様性を認めあい、共に活躍できる場を提供し続けます。

社会への責任

我々が生活し、働いている地域社会、
更には全世界の人間社会に対する責任です。

- 地域社会の責任ある一員として環境・安全に配慮した事業活動(レスポンシブル・ケア)を行います。
- 地球環境負荷低減を含めた地球環境保全のニーズに対し、環境配慮型製品を提供し続けます。
- 製品ライフサイクル全体から発生する環境負荷の削減に努めるとともに、環境安全配慮を行います。
- 事業活動を通して、生物多様性の保全に積極的に貢献し続けます。

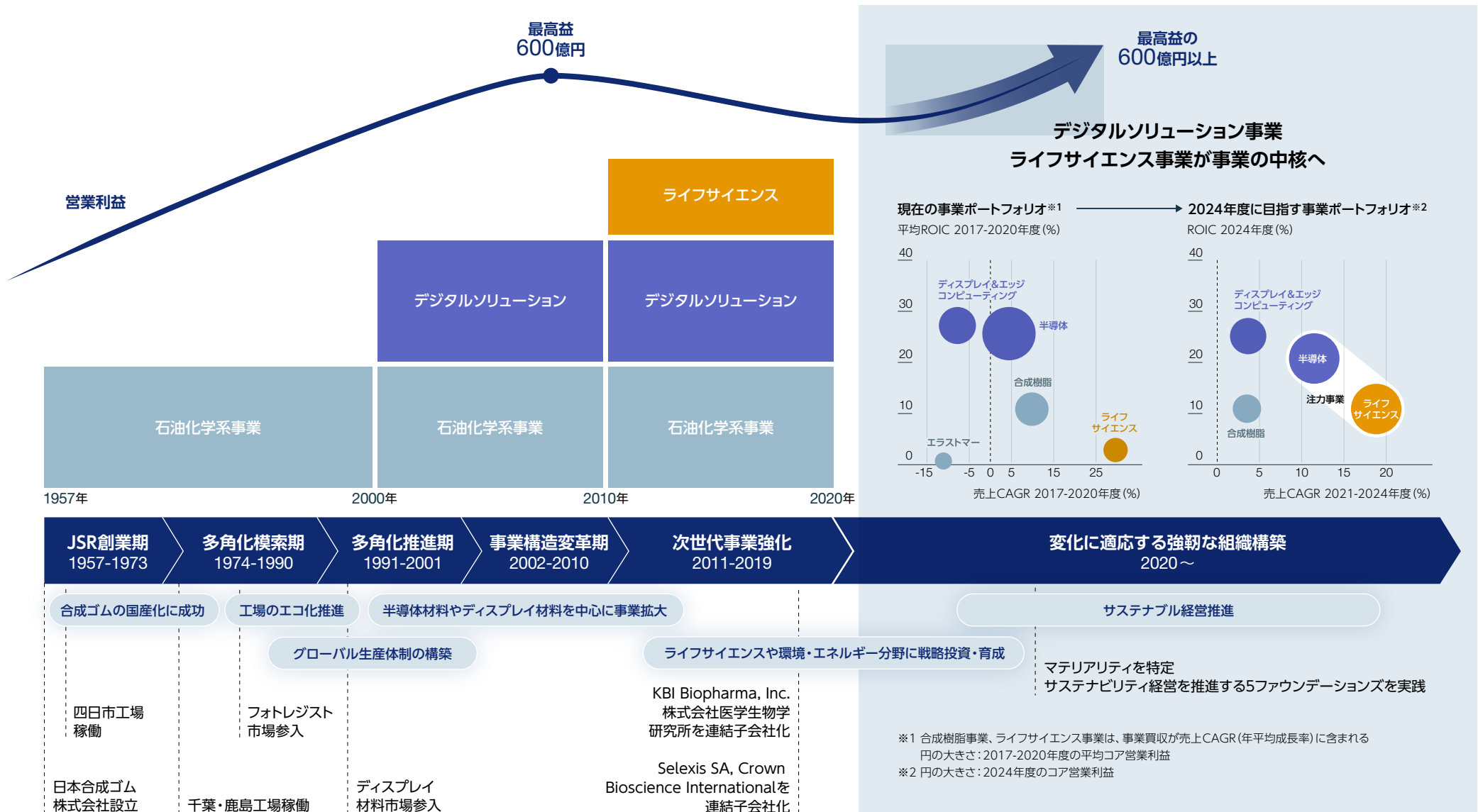
株主への責任

株主全体に対する責任です。

- マテリアルを通じて事業機会を創出し、企業価値の増大を目指します。
- 経営効率の向上を常に行います。
- 透明性が高く健全な企業経営を行うことにより、株主に信頼される企業となります。

企業理念実践の歴史

創業以来、時代の変化をチャンスと捉え、事業ポートフォリオを改革し続けてきました。



社会課題解決に向けて

JSRグループでは社会の課題を長期的視点で捉え、社会に影響を及ぼす以下の4つをマクロトレンドと設定しました。



中長期価値創造

社会課題を捉え、JSRの強みである技術を通じて社会に貢献し、企業価値の向上に取り組めます。

企業理念 Materials Innovationの実現



事業活動 OUTPUT

デジタルソリューション事業	ライフサイエンス事業	合成樹脂事業
最先端の半導体材料、ディスプレイ材料等の提供	創業プロセス支援および診断薬・研究試薬の提供	自動車部材を中心に高機能な樹脂製品を提供
売上収益 1,650億円*	売上収益 725億円*	売上収益 906億円*

強靱な組織をつくるフレームワーク **5** ファウンデーションズ

2 グローバリゼーション	1 サステナビリティ	5 イノベティブカルチャー
3 オペレーショナルエクセレンス	4 デジタル化	

※ 2021年度

レジリエント(強靱)な経営基盤 / ESG

OUTCOME

顧客企業への貢献	社会への貢献 課題解決
<ul style="list-style-type: none"> 技術革新 製品安全性 製造プロセスの効率化 顧客企業との協業 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の質・幸福への貢献 健康長寿社会 地球環境保全

新たなマクロトレンドの発生

社会課題の解決を目指す

JSRの提供価値

強みである最先端技術を活用した事業を生み出すことにより、顧客や社会の課題を解決し、世の中をもっと豊かにしていきます。

🌐 サステナビリティサイトでも紹介しています。

<https://www.jsr.co.jp/sustainability/atagance/index.shtml>

生活の質向上・幸福な社会



JSRグループは、常に進化を続ける高い技術力により、IoT、AI、5Gを活用したスマート社会に貢献し、世界中の一人ひとりがより豊かである社会を実現することを目指します。

例えば...

スマート社会の発展に向けて、半導体材料事業で顧客ニーズに応える

情報化社会の進展に伴って増加したスマートフォンをはじめとした多様なデバイスや、膨大なデータを迅速に処理するデータセンターには半導体が欠かせず、半導体の回路配線の微細化は機能向上や省電力化につながります。現在、半

導体の微細化の手法として用いられているのが、極端紫外線という非常に短い波長の光を用いる技術(EUV)で、当社はその技術に対応した樹脂である「EUVフォトリソグ」の開発・製造を通じて、スマート社会の発展に貢献しています。



健康長寿社会

最新の技術を活用した材料・素材やサービスの提供により、バイオ医薬品開発プロセスの効率化・短縮化などを支援しています。個別化医療に向けたサービスや製品の提供などにも取り組み、健康長寿社会の実現に貢献します。

例えば...

ライフサイエンス事業で創薬期間の短縮と効果的な医薬品の開発に貢献

バイオ医薬の創薬から製造まで一貫してサポートする「創薬支援サービス」のCDMO事業（バイオ医薬品の開発・製造受託）やCRO事業（医薬品の開発受託）では、バイオ医薬品開発の効率化を支援することにより、最先端医療の早期実用化を実現し、健康長寿社会に貢献します。



地球環境保全

製造段階での地球環境保全の取り組みだけでなく、製品段階における環境負荷低減につながる新事業機会創出など、幅広い視点から環境問題に取り組んでいます。

例えば...

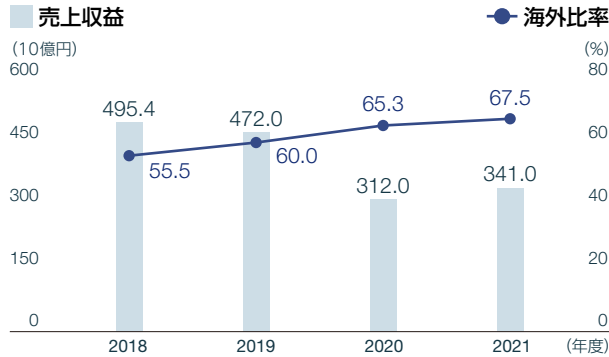
顧客企業へ環境配慮型製品を提供し環境負荷低減を目指す

ディスプレイ材料における、製造プロセスのエネルギー消費を抑制する「低温材料」や環境負荷を低減する「リサイクル配向膜」、自動車用プラスチック素材で、リサイクルを容易にする無塗装化材「MIVILLOY®」など、さまざまな環境配慮型製品の普及に取り組み、地球環境の保全に貢献しています。

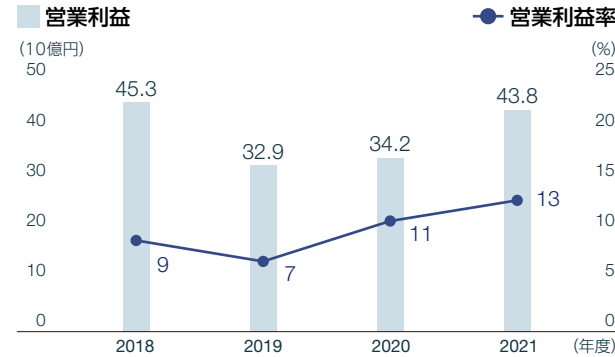


財務情報

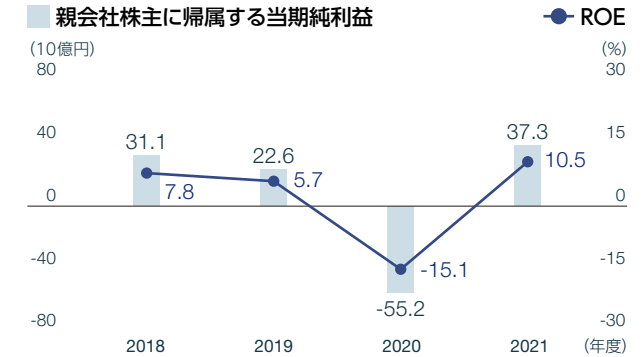
※2021年度よりエラストマー事業を非継続事業に分類しています。2020年度は、一部を組み替えて表示しています。



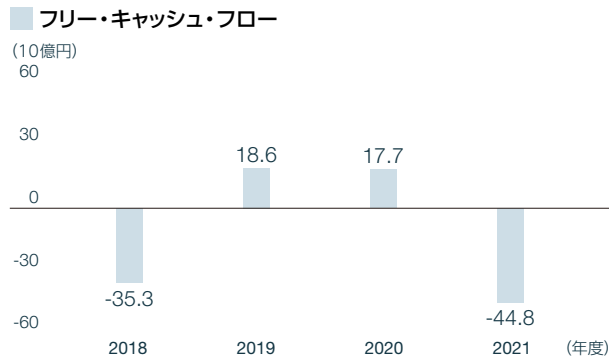
エラストマー事業譲渡の完了後は半導体材料事業とライフサイエンス事業を中心とし売上収益を押し上げています。上記2事業の主要市場は、海外であり海外比率は年々増加傾向にあります。



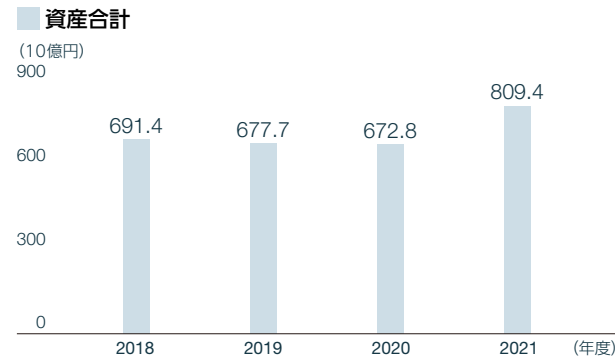
2024年度に向けた経営方針の目標利益600億円に向け良好な進捗状況となっています。高付加価値製品へ資本を優先的に投入しさらなる利益率の向上に努めていきます。



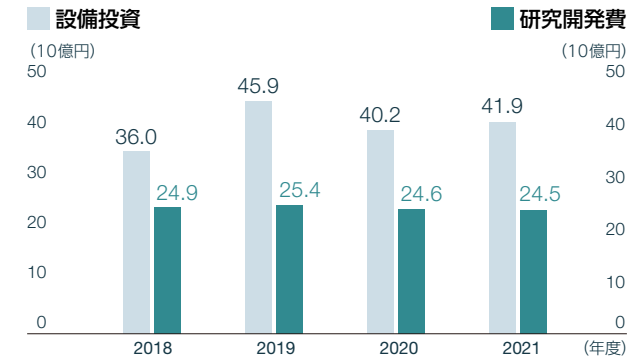
2024年度に向けた経営方針に掲げた事業目標であるROE10%以上を2021年度に前倒しで達成しました。高付加価値製品へ資本を優先的に投入し、さらなる利益向上や自社株買いなどの資本政策によりROE向上に努めます。



成長分野への投資を着実に実行していくことにより、持続的な利益成長を達成し、企業価値の向上を目指しています。配当に自己株買いも含めた総還元性向で50%程度を維持することにより株主の皆さまの期待に応えていきます。

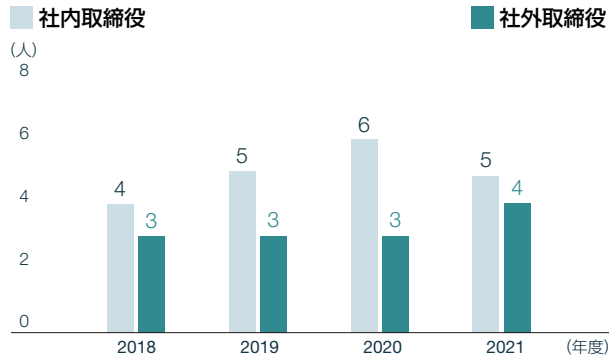


事業拡大に向けたM&Aなどにより資産は増加傾向にあります。財務健全性維持のために、中期の資源配分方針の設定や、ROIC、ROEなど資産効率、投資効率の管理を全社ならびに事業別に行っています。また、財務健全性を維持するDebtキャパシティのモニタリングや調達手段の多様化の取り組みなどを適宜行っています。

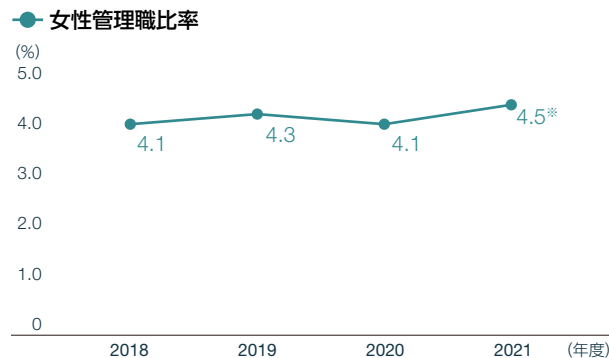


経営方針期間中に2,500億円程度の営業キャッシュ・フローを想定しています。内訳として、1,400億円程度はCAPEX(資本的支出)として半導体材料事業とライフサイエンス事業への投資を計画しています。その他の用途として、機動性と柔軟性を高めつつM&Aを含めて成長投資を実行していきます。

非財務情報



グローバル化、IT化、デジタル化等の事業環境の急速な変化に対応すべく、2019年度はJSR初の外国籍CEO(最高経営責任者)を、2020年6月には社内から初の女性取締役を選任しました。2021年度には外国籍社外取締役が選任され、取締役会のさらなる多様性の拡充を進めています。



JSRは、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンを尊重し、従業員のニーズ変化に対応できるよう進化しています。2030年度に女性管理職比率を10%にすることをKPIとして施策を進めています。

* 2022年4月1日時点

連結従業員数

9,696人

障がい者雇用率

2.59%

2022年4月1日時点

保有特許数

5,084件

グローバルネットワーク

国内 19 拠点

海外 28 拠点

2022年4月1日時点

労働災害発生件数

JSR株式会社 1 (2)

JSR株式会社 協力会社員 0 (1)

国内グループ企業 4 (3)

国内グループ企業 協力会社員 1 (3)

※ カッコ内は不休業災害

温室効果ガス排出量
(エラストマー事業含む)

1,013 千トン-CO₂

エネルギー使用量
(エラストマー事業含む)

0.35 KL/トン

注：特別の記載のないものは、2022年3月31日時点の数値